

## モットー「He profits most who serves best」の真意

The Business Philosopher 1920 年12 月号 Arthur Frederick Sheldon 著

2680 地区 PDG 田中 毅 訳

1904年から1923年まで、シェルドン出版社から発行された月刊誌The Business Philosopherの存在を知りました。この雑誌の1920年12月号に、シェルドンは「モットー He profits most who serves best の真意」という文章を掲載しています。

今まで、数多くの人が、このモットーの意味を解説してきましたが、これはあくまでも、解説者の主観であって、シェルドン自らの解説こそが真実であり、この論争に決着をつける貴重な文章であると考えて、ご紹介します。

翻訳した原文は8000字以上の長文ですので、その要点のみをまとめてご紹介します。なお、原文をご覧になりたい方は、ロータリー文庫およびロータリーの源流にアクセスしてください。

---

奉仕とは、正当な利益を得るための唯一の原因である。奉仕が原因であり、利益は結果である。原因結果論。

---

人生の成功は、次の三者が順番通りに作動しなければならない。

「I」個人や個人の集合体や団体 individual or aggregation of individuals

「S」奉仕の実践 service rendered

「P」利益 profit.

失敗は利益のみを追求することで起こる

---

万有引力は自然の法則である。

顧客に最も奉仕する店舗に向かって重力が傾き、その結果繁盛する。

正しい才能を持った雇用主と、最善の奉仕を実践する従業員がいる店舗に顧客は集まる。

このような雇い主に対して、従業員は魅力を抱く。

---

小さい炎には、少ない熱。より大きな炎には、より大きな熱がでる。

炎の量と強さが増すにつれて、熱の量と強さは自然に増える。

少ない奉仕には少ない報酬。より大きい奉仕にはより大きな報酬が得られる。

これは人間の努力と価値ある報酬の分野における、原因と結果に関する自然の法則である。

---

効率的な奉仕を行うには、奉仕に関する願望と能力の双方を必要とする。効率的な奉仕を実践する力を強めるには、知性、感性、肉体、意思の四つの力が必要である。

---

profitという概念は、正三角形によって象徴される。一辺は、L:Love of our fellowmen, Respect 他人に対する愛や敬意、もう一辺は、C:Conscience 自尊心や良心、底辺は、P:Profit 物質的利益になる。

---

奉仕という概念は正三角形によって象徴される。一辺は、**Q: Right Quality** 正しい品質、もう一辺は、**Q: Right Quantity** 正しい量、底辺は、**M: Right Mode of Conduct** 正しい管理状態を表す。

---

個々の人の背後には、全知、全能、普遍的な原因である、最終的に「G」と呼ばれるものが存在する。唯物論的に考える人は、「G」のことを、すばらしい自然の摂理と呼んでもよい。

シェルドンは、経営学を純粹に学問として捉えた唯物論者であり、神の存在は否定しないまでも、全てのものの創造主は神であるという説は否定している。

シェルドンは敢えて「神 God」という言葉を使わずに「**Provider** 提供者・創造者」という言葉を使っている。Godと書かずに、単に「G」と書いたことに留意すべきである。

別の文献によると、シェルドンはプロテスタントではなく、アブライド・キリスト教と呼ばれる、サイエンス・クリスチャン派だったと言われている。

---

全ての物質は提供者によって生み出される。我々は、無限に物を提供する提供者によって作られた物質を加工しているに過ぎない。

---

提供者によって供給された原料を、人間の心と手によって加工することが、人類に対する役に立つ奉仕として機能する。奉仕とは「役立つこと」の別名に過ぎない。

---

他人に対する明白な奉仕とは、他人に対する愛を客観的に明白にすることであり、仲間に対する愛を立証できる唯一の方法は、仲間に対する奉仕である。

「**Love** 愛」は宇宙における最も建設的な力であり、「**Hate** 嫌悪」は最も破壊的な力である。

---

奉仕の原則を適用する最も良い方法は、**The Golden rule** 黄金律を実践することである。

黄金律「すべて人にせられんと思うことは、他人にもその通りにせよ」とは、**The rule for making gold** 金儲けの法則でもある。その道德律を分かり易く述べた言葉が「**He profits most who serves best** 最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」である。